

令和7年度第2回滝沢市社会教育委員会議（顛末書）

1 日 時

令和8年2月9日（月）午前10時15分から午前11時45分まで

2 場 所

滝沢市役所2F201・202会議室

3 出席委員

委員12人のうち6人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

N o	氏名	役職	所属など	出欠
1	嶋野 重行	議長	盛岡大学短期大学部教授	○
2	藤川 真人	副議長	滝沢小中学校長会（篠木小学校長）	○
3	富澤 浩樹	委員	岩手県立大学ソフトウェア情報学部准教授	○
4	藤井 玄	委員	国立岩手山青少年交流の家所長	○
5	太田 豊	委員	滝沢市自治会連合会副会長（姥屋敷自治会長）	－
6	和野 美香	委員	滝沢市地域婦人協議会理事	○
7	高橋 雅寛	委員	滝沢市子ども会育成連合会長	－
8	藤倉 浩康	委員	滝沢市PTA連絡協議会長（滝沢東小PTA会長）	－
9	佐々木昭司	委員	滝沢市芸術文化協会副会長	－
10	切金 一夫	委員	滝沢市少年補導員連絡会長	－
11	齊藤 工	委員	滝沢市商工会青年部長	－
12	大畑佳代子	委員	滝沢市国際交流協会副会長	○

5 出席職員

N o	氏名	所属・役職など
1	太田 厚子	教育長
2	久保 雪子	教育次長
3	佐々木敬志	生涯学習スポーツ課長
4	岡田 久美	文化振興課長（湖山図書館長・埋蔵文化財センター所長）
5	細川 健一	生涯学習スポーツ課 総括主査兼社会教育主事
6	田村 卓朗	文化振興課 総括主査
7	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 総括主査
8	星野 麗子	文化振興課 主査

6 会議内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 議事録署名人の任命

(4) 報告

令和7年度事業の実施状況について

(5) 協議

令和8年度社会教育行政の方針と計画について

生涯学習推進計画学びプランたきざわに関する今後の在り方や社会教育委員会議とスポーツ推進審議会の統合について（案）

(6) 閉会

7 質疑応答など

委員 小中学校体育施設の開放ですが、各種スポーツ団体などに開放していますが、使い方をもっと丁寧に活用してほしいと感じる部分もあるようです。各種利用団体にマナー周知を徹底していただければと思います。

事務局 小中学校からの理解と協力があって成り立つ事業と考えており、何か困った事例があった場合には、当方まで直接ご連絡いただければ各小中学校の運営協議会にマナーを徹底するよう伝えるなどします。また、毎年1月に担当者会議を開催しており、その場で周知・徹底を図るよう取り組んでいました。

委員 私も毎年学び&いきいきセミナーを受講しており、特に本年度はドイツ語の歌の合唱と従来の講義形式ではなく受講者を巻き込んだ一体型の画期的なセミナーであり、一体型の方が良いのではと感じました。全5回シリーズは多かったので来年度は全4回シリーズとなり、より満足度が高まるものと思います。

滝沢市内の中学生や高校生による全国を舞台とした大会などでの目覚ましい活躍が報じられる度にとっても元気をいただいております。

委員 子ども会リーダー養成研修会とジュニアリーダーズセミナーで縦軸つながり強化とあり、素晴らしいです。小学生から中学生、高校生、大学生が分断されず先輩たちから学びながら後輩たちが育っていく縦軸つながりの強化を、教育委員会として意識しながら取り組んでいることが素晴らしいです。

令和8年度社会教育行政の方針と計画ですが、自治体によっては、生涯学習と社会教育が持つそれぞれの意義が明確でない事例が多いです。しかし、滝沢市は双方の意義をしっかりと伝えながら、何を指すのかが明確に打ち出され、大事なことを意識して取り組まれています。これからは、社会課題や教育課題を解決できる人づくりに向けた課題解決学習が大事であり、学校で学んだことを社会教育の体験活動に活かしていくことで、実践的な学びを通じて、社会課題と教育課題の解決ができる人になることができると思います。リカレント教育においても、内発的な動機付けで自らの学びの成果を社会に還元できる人を応援する取り組みが素晴らしいです。

滝沢市の取り組みに私たちもご協力できればと考えておりますのでお声かけいただければ幸いです。

委員 おはなし会や工作教室、映画会など図書館活動が活発であると感じました。総合的学習の時間への対応についてどのようなことに取り組まれているのかお教えいただければと思います。

事務局 社会科見学の一環で図書館における仕事見学や普段見ることができない閉

架書庫やかっこう号などの見学などを行っております。

委員 埋蔵文化財関係職員を対象とした講習会や会議などへの不参加が多いようですが、何かご事情があるのでしょうか。

事務局 他の業務日程との重複や旅費の関係などが主な理由となります。

委員 伝統文化・芸術の次世代継承ですが、郷土芸能発表会など発表の場づくりをもっと充実していただければと存じます。12月に開催される子ども会リーダー養成研修において6送会の企画発表を行っているようですが、学んだことを活かしているものかどうか把握しておりますか。

事務局 本年度より郷土芸能団体後継者育成奨励金を各種イベントへの出演の折に交付しています。なお、1団体あたり6千円(1日)×10回分を予算措置しており、上限に近い金額を交付させていただく見込みとなっています。

1月に開催された郷土芸能発表会においても出演料を挙げさせていただいております。

事務局 子ども会リーダー養成研修では、コミュニケーションの大切さを学ぶ内容となっており、毎年12月に開催することで6送会に間に合うよう時期を設定しております。ただ、現時点では具体的な実績把握は行っておりませんのでご意見として承りたいと思います。